

カイゼン報告用紙

課等名

警備第二課大根分署第二班

受 理 番 号

26-K009

標 題

消防用訓練人形(自主制作によるLOW COST)について

1 これまでのやり方(問題点)……何がどのように問題であったか具体的に

既製品の消防用訓練人形は5署ある中で1署にしか配置されていません。また、既製品の消防用訓練人形は、高価であり財政が逼迫する中で、予算をつけ購入することが厳しい環境であることから、職員が訓練人形の代わりとなって要救助者役をローテーションしながら様々な災害を想定した救出訓練等を日々実施しています。

2 取組経過……改善実施までの取組内容、苦労した点、費やした時間等について具体的に

自主制作訓練人形を作成するに当たり、人形の関節等を人間に似た動きにすることが大変であり、身長165cm体重40kg位になるように小石を詰めたり、縫合をおこないました。制作時間は二日間程度です。
※『自主制作訓練人形完成写真』は別紙のとおり

3 改善後のやり方……改善後の方法について具体的に

今後、自主制作訓練人形を補修する場合は、パーツ毎に交換・補修が可能であり、短時間、かつ、補修費用が発生することなく、職員で対応ができるように改善された。
また、現場活動等で穴が開き廃棄になる消防用ホースを再利用することで、既製訓練人形の更新を延伸することが可能になりました。

4 改善の効果……効果について数量等を具体的に

効果額
(算定根拠)

① 既製訓練人形の新規購入費:約300,000円
② 自作訓練人形制作費:小石10kg350円×4袋=1,400円
①-②=298,600円の経費節減が可能
例:1署4分署で購入の場合 5×298,600=1,493,000円の経費節減になる

時間の節減
(算定根拠)

特になし

その他の
効果

廃棄になる消防用ホースを再利用するため、ゴミの軽減になり地球環境の保全に貢献できます。

自作訓練人形完成写真

